

## 2025 年度第 2 回（通算 212 回例会）技術情報交換会の案内

**(株)羽生田鉄工所**

**“エンジニアード CFRP”の再定義と振動減衰性設計・試作**

**(株)カネカ**

**ビスマレイミッドプリプレグと複合材の強度復元を目指したインジェクション樹脂**

**丸八(株)**

**熱可塑 CFRP 製極低温ロケット燃料タンクの開発**

**新明和工業(株)**

**熱可塑性 CFRP を用いた航空機大型構造部材の一体成形技術開発**

一般社団法人先端材料技術協会（SAMPE Japan）の技術情報交換会は、製品・技術紹介 4 件を 企画しました。今後の会員皆様が進むべく方向の参考になれば幸いです。講演会終了後、東京大学敷地内の山上会館で技術交流会を行います。名刺交換・意見交換・技術情報交換・ビジネスマッチングの場として、ご利用・ご参加ください。尚、技術情報交換会は、年 3 回程度開催していますが、製品・技術紹介を通じて会員相互の情報交換及び交流の促進などのネットワークの作りを目的としております。次回以降の製品・技術紹介の発表を ご希望される方やその他のご要望・ご相談等ございましたら、技術情報交換委員会に、お気軽にご連絡ください。技術情報交換会での製品・技術紹介は、SAMPE Japan の製品・技術賞の候補の対象となります。

記

1. 日時： 2026 年 2 月 18 日（水） 13:00 ～ 17:00

2. 場所：

講演会： 東京大学本郷キャンパス工学部 2 号館 213 号講義室（13:00 ～ 17:00）

（講演会終了後 技術交流会場へ移動）

技術交流会： 山上会館 1 階 17:30 ～ 19:30

3. 参加費： 正会員

・ 個人登録 14,000 円（不課税）

・ 名誉会員 7,000 円（不課税）

・ 永年会員 7,000 円（不課税）

・ シニア会員 7,000 円（不課税）

賛助会員（5 人/口まで） 14,000 円（不課税）

学生会員 無料（講演会のみ）

非会員 25,000 円（税込）

4. 定員： 100 名

## 5. 参加申込

お申込みは以下の参加登録システムをご利用下さい。

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/apply/SAMPE>

尚、**申し込み期限は、2月12日（木）17時まで**としますので、お早目にお済ませください。

**登録料支払い方法を以下の 2 方法といたします。**

- ・ クレジット決済
- ・ 銀行払

※ 会員 ID・パスワードが不明な方は下記宛にお問い合わせ下さい。

(一社)先端材料技術協会事務局

Tel: 03-5981-9824 Fax: 03-5981-9852 E-mail: [g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp](mailto:g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp)

## 技術情報交換会参加手順

### 1 参加登録システム

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/apply/SAMPE>

から申し込んでください。

- ✓ ☐ クレジット決済 あるいは ☐ 請求書による銀行払いを選択してください。  
請求書・領収書はオンライン発行となりますのでご自身にてダウンロードして下さい。

- ✓ ご不明な点は [g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp](mailto:g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp) までお問合せください。

(注1) 締め切後の返金を致しかねます。欠席の場合、代理の方のお名前を事前に、ご連絡いただければ参加可能です。

また返金の場合、振込手数料を差し引いての返金となります。

- 2 上記手続き完了後、参加登録完了メールを送付いたしますので、プリントアウトして会場にご持参ください。

## 【プログラム】

12:30 ～ 13:00 参加者受付・入室

13:05 ～ 13:05 開会挨拶

技術情報交換委員会委員長 馬場 俊一

連絡先: [shunbaba@sunwa-trading.co.jp](mailto:shunbaba@sunwa-trading.co.jp)

13:05 ～ 13:55 **材料を設計して作り込む ” エンジンード CFRP ” の再定義と、  
振動減衰性設計・試作事例の報告**

**製品・技術紹介 (1) 株式会社羽生田鉄工所**

専務取締役

羽生田 大陸様

専門家の皆様には釈迦に説法だが、近年 CFRP の活用ニーズが増える一方で、新規ユーザーには「材料を設計できる」ことの本質が十分に伝わらず、力を発揮しきれないミスマッチがある。そこで本報告では、この点を整理するため、材料段階から作り込む考え方を便宜的に「エンジンード CFRP」と呼び紹介する。その特徴を示す例として、積層設計を行い振動減衰性「のみ」を意図的に変えた設計・試作事例を報告する。

14:00 ～ 14:50 **CFRP成形型に向けた低温硬化ビスマレイミドプリプレグと複合材  
の強度復元を目指した修復用インジェクション樹脂について**

**製品・技術紹介 (2) 株式会社カネカ**

Material Solutions New Research Engine

Technical Manager

高岡 歩様

- ・ 当社は 2017 年に複合材向け配合樹脂やプリプレグの開発・生産を行う米国グループ会社 Kaneka Aerospace を設立した。
- ・ 航空宇宙向け複合材の量産には、その成形型の材料として金属 (Invar 等) の他、ビスマレイミド樹脂を用いたプリプレグが使用されるケースが多い。
- ・ また、複合材の修復にはプリプレグを用いたスカーフ修理の他、樹脂単体を用いたインジェクション法等があるが、インジェクション法は強度復元に向けた修復法とは一般的にみなされない。
- ・ 本発表では型向けビスマレイミドプリプレグや修復用インジェクション樹脂において、そのプロセス性を高めた結果、型のトータルコスト低減や、インジェクション法を用いた複合材修復時の強度復元が期待できる Kaneka Aerospace の新技術・新製品について紹介する。

14:50 ～ 15:05 **休憩・換気**

15:05 ～ 15:55 **熱可塑 CFRP 製極低温ロケット燃料タンクの開発**

**製品・技術紹介 (3) 丸八株式会社**

将来開発部・部長

中島 正憲様

丸八株式会社は、2024 年度から公募が始まった、宇宙戦略基金の第 1 期に応募し、採択された。採択された研究開発内容は、機関ロケットの液体水素タンクを熱可塑複合材料で製造する技術レベルを TRL4 まで確立することであるが、応募までの JAXA との共同研究の取り組み及び採択までの苦労話、これからの開発に関して紹介を行う。

16:00 ～ 16:50 **熱可塑性 CFRP を用いた航空機大型構造部材の一体成形技術開発**  
**製品・技術紹介 (4)** 新明和工業株式会社 航空機事業部 技術本部 生産技術部

加工技術課 熱可塑 CFRP 研究チーム チームリーダー 西村 太一様

持続可能な次世代航空機開発に貢献するため、熱可塑性 CFRP を用いた航空機構造部材の一体成形技術開発に取り組みました。本研究では、航空機構造部材のエロンおよびフロアパネルを対象に、2m を超える実機サイズの試作を実施し、軽量化、製造効率化、コスト低減の効果を評価しました。本講演では、これらの取り組みと得られた知見について報告します。

16:50 ～ 17:00 連絡事項・閉会挨拶

17:30 ～ 19:30 技術交流会 (山上会館)

### 【アクセス】

最寄りの各地下鉄の駅から、工学部 2 号館まで

東京メトロ丸ノ内線 本郷三丁目駅 出口3より、東大正門を経て徒歩約 25 分

都営大江戸線 本郷三丁目駅 出口3より、東大正門を経て徒歩約 25 分

東京メトロ南北線 東大前駅 出口1より、東大正門を経て徒歩約 25 分

東京メトロ千代田線 根津駅 出口1より、東大正門を経て徒歩約 20 分

### 最寄りの各地下鉄駅からの位置概観



写真による、東京大学本郷キャンパス工学部2号館への行き方を**必ずご参照**ください。

[https://clin.or.jp/?page\\_id=2287](https://clin.or.jp/?page_id=2287)

以上